施策評価部会　文化事業調査シート

資料⑧

▼基本情報

事業名	第56回草津市民文化祭		開始年度	S37	
担当課	草津クレアホール	相手方	草津市文化協会		
計画の位置づけ	協働による文化活動の推進				
協働の形態	□委託　□補助　□事業協力　☑指定管理				
協働の領域	市民主体 市民が自主的・自発的に責任を持って行う	市民主導 市民が主導で行い、行政等の協力が必要	市民・行政等 市民と行政等が連携・協力して行う	行政等主導 行政が主導で行い、市民の参画が必要	行政主体 行政が主体性と責任を持って行う
	□	☑	□	□	□
H29決算額	485千円	主な内訳	委託費433千円、印刷費52千円		
事業の目的	より多くの市民や団体の参画を促し、交流、研鑽の場の提供を目的とする。				
事業の概要	草津市文化協会と共催。協会に対し、舞台演出等をアドバイスし、市民の文化活動を支援。舞台で実演を行う「芸能発表の部」（謡曲、邦楽、民謡、マジック等）と作品展示を行う「展示発表の部」（華道、俳句、写真、トールペイント、グラスアート）を開催し、市民の文化活動の成果を披露したなど様々なジャンルの文化団体が日頃の活動発表を行った。草津クレアホールで二日開催。				
役割分担	市（指定管理者）		相手方		
	・チラシ等印刷 ・当日舞台進行（音響、照明、道具手配） ・展示会場の設営 ・当日スタッフの手配　など		・参加団体の募集 ・会議資料の作成 ・全体のスケジュール管理 ・当日運営　など		
課題	元々、市から草津市文化協会への委託事業として実施されてきた経過（H26まで）があることから、文化協会に指定管理事業としての認識が薄く、指定管理者のノウハウを生かした事業のプロデュースが困難。				

▼運営組織

組織形態	草津市文化協会役員会	設置根拠			
事務局	草津市文化協会	会長	文化協会会長		
委員の人数（定員）	6名	任期	1年	報酬	
委員の条件、資格	協会の役員				
選出方法	協会にて決定				
課題	・実行委員会形式でないため、指定管理者が関われず、指定管理者のノウハウが生かした事業のプロデュースが困難。 ・草津市文化協会が高齢化しており、次世代の育成ができていない。				

▼市民の参加形態（事業への出品、出演等）

参加の内容	出演	参加費	
参加者の公募	☑有　□無	審査	□有　☑無
参加の条件、資格	市内で舞台芸術活動を継続的に行い、当日の運営を手伝える団体		
課題	・草津市文化協会の発表が優先され、公募枠は「飛び入り枠」と表現される ・1団体の発表時間が長いため、公募団体の受入数に限りがある（4団体、20分程度） ・展示発表の部は公募していない。		

▼その他参考情報